

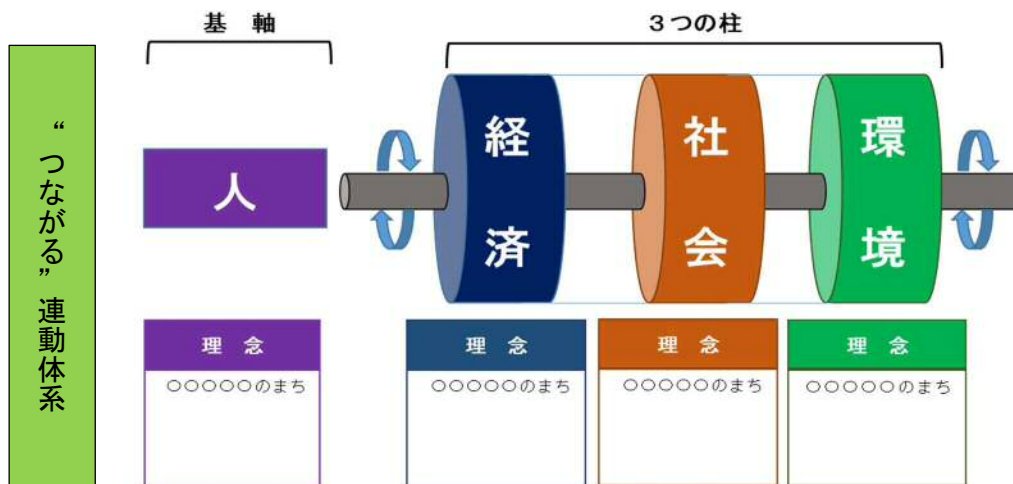
私たちが目指す天草市の将来像

市民と行政が共に目指す **2030年の『天草市の姿』**
 “ ●●●● ●●●● ●●●● ”

市政アンケートや行政区長、地区振興会長、まちづくり協議会役員を対象とした市長との意見交換会、まちづくりワークショップ、高校生ワークショップ等の市民皆様の意見及び審議会での意見を踏まえ策定していきます。

将来像の実現に向けた基軸と3つの柱

第3次天草市総合計画基本構想においては、私たちが目指す天草市の将来像の実現に向けて、『人』を基軸とし、『経済』、『社会』、『環境』の3つの柱が連動して動く天草型の仕組み（“つながる”連動体系）により取り組んでいきます。



ありたい姿

基軸となる「人」、3つの柱となる「経済」「社会」「環境」の各項目における『ありたい姿』は、第3次天草市総合計画策定方針に示した視点及び2030年に求めていく事項から導き出していきます。

■第3次天草市総合計画策定方針における視点

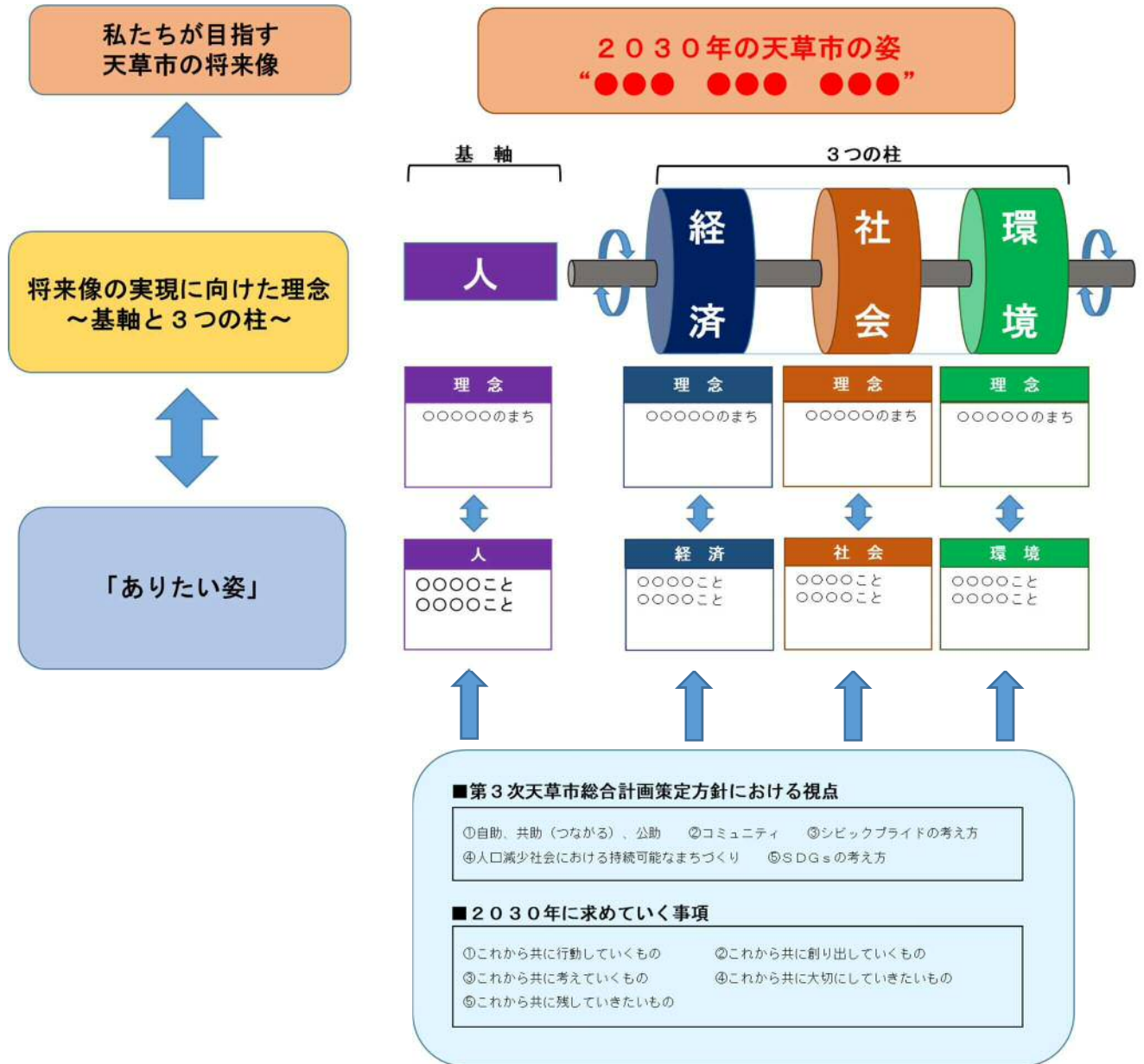
- ①自助、共助（つながる）、公助 ②コミュニティ ③シビックプライドの考え方
- ④人口減少社会における持続可能なまちづくり ⑤SDGsの考え方

■2030年に求めていく事項

- ①これから共に行動していくもの ②これから共に創り出していくもの
- ③これから共に考えていくもの ④これから共に大切にしていきたいもの
- ⑤これから共に残していきたいもの

なお、市政アンケートや行政区長、地区振興会長、まちづくり協議会役員を対象とした市長との意見交換会、まちづくりワークショップ、高校生ワークショップ等の市民皆様の意見及び審議会での意見を踏まえ策定していきます。

基本構想 体系図



《参 考》

第2次天草市総合計画では、平成27年（2014）度から令和4（2022）年度の8年間で市民と行政が長期的な視点でまちづくりを進めていくためのイメージとして、5つのまちの将来像「豊かで活力ある産業のまち」、「文化を育み人が輝くまち」、「安らぎのある快適なまち」、「未来を拓く社会基盤が充実したまち」、「自治体経営が安定したまち」を掲げ、様々な事業に取り組むことで成果を上げてきました。



本市も推進する持続可能な開発目標（SDGs）における、ストックホルムレジリエンス研究所が考案した、基軸を『パートナーシップ』、枠組みを『経済』、『社会』、『環境』を柱とするSDGsの概念を表す構造モデル“ウェディングケーキモデル（下記図）”に基づき分類すると合致しています。

